

## 審査結果報告書

2021年2月5日

主査氏名

青山直善



副査氏名

岡本浩嗣



副査氏名

庄司信行



副査氏名

三枝 信



1. 申請者氏名 : DM17005 加藤 彩美

2. 論文テーマ :

Physical exertion as a trigger of acute coronary syndrome caused by plaque erosion

(プラークびらんによる急性冠症候群の引き金としての身体運動)

3. 論文審査結果 :

2021年2月5日17時より、主査：青山直善、副査：三枝 信、庄司信行、岡本浩嗣、により循環器内科加藤彩美（指導教授 阿古潤哉）（敬称略）の論文博士学位審査を実施した。本論文は、急性冠症候群発症の約3分の1を占める「プラークびらん」について、発症時の推定運動量と発症場所を評価することにより、プラークびらん発症の引き金となる事象について調査し、プラークびらん発症の臨床的な特徴について検討したものである。2012年3月1日から2018年2月28日までの非ST上昇型急性冠症候群患者97例のOCT所見を、プラークびらん、プラーク破綻、石灰化プラーク、その他、の4群に分類し、発症時の運動量やその状況につき4群間で比較して解析した。プラークびらんによる急性冠症候群患者は、高い身体活動と屋外において発症していることが明らかとなり、プラークびらん発症時の臨床的な特徴が示された。この論文から、未だに明らかになっていないプラークびらん発症の病因解明や予防治療に貢献する事象が示された。また、学位審査における、質疑応答にも十分に対応できており、主査および全ての副査とも、学位論文としてふさわしい内容であると判断した。